

笑顔、きらきら、天竜川



笑顔きらきら、天竜川。



天竜川上流
河川事務所

2022 事業概要 (令和4年度)

国土交通省 中部地方整備局
天竜川上流河川事務所

天竜川上流河川事務所 管内図



中央アルプスの山並み



天竜川は、諏訪湖を源とし中央・南アルプスの間を南下、静岡県を流下して太平洋に注ぐ、流域面積5,090km²、幹川延長213kmの我が国屈指の急流河川であり、脆弱な地層、急峻な地形と相まって、洪水や土砂災害といった幾多の災害を引き起こしてきました。



- 【凡例】
- 直轄河川管理区間
 - 直轄砂防事業区域
 - 直轄地すべり対策事業地区
 - 大規模土砂災害時の緊急調査担当範囲
 - 事務所
 - 河川出張所
 - 砂防出張所



事務所の概要

事務所のあゆみ

天竜川上流河川事務所の前身として、昭和12年の「内務省直轄・名古屋土木出張所 小渋川砂防工場」が設置され、昭和22年に小渋川砂防を引き継ぎ「内務省関東土木出張所 天竜川工事事務所」が発足、昭和28年に「天竜川上流工事事務所」と名称変更、平成15年4月1日より「天竜川上流河川事務所」と名称変更され、現在に至っています。

管内は長野県南信地域の天竜川流域で河川3出張所、砂防4出張所を配置し、地域の河川事業・砂防事業を進めています。

事務所の組織

| | | | |
|------|------------|--------------------------------|--|
| 事務所長 | 副所長(事務) | 総務課 | 事務所運営等に関する業務 |
| | 副所長(技術・河川) | 経理課 【契約センター】 | 工事・業務などの契約事務・国有財産管理等に関する業務 |
| | 副所長(技術・砂防) | 用地課 | 事業用地の取得等に関する業務 |
| | 契約事務管理官 | 工務課 | 河川・砂防に関する施設の設計及び工事等に関する業務 |
| | 工事品質管理官 | 品質確保課 【品質確保センター】 | 工事及び調査・設計業務の品質確保及び危機管理・災害時支援等に関する業務 |
| | 事業対策官 | 調査課 | 河川事業に関する調査・計画や出水時の水防対応及び電気通信等に関する業務 |
| | 建設専門官(6) | 砂防調査課 | 砂防事業及び地すべり対策事業に関する調査・計画及び広報に関する業務 |
| | 保全対策官 | 管理課 | 河川管理施設の維持管理等に関する業務及び河川占用等の許認可事務に関する業務 |
| | 専門調査官 | 伊那出張所 | 天竜川(伊那市殿島橋～辰野町昭和橋) 三峰川(天竜川～高遠ダム直下流) 横川川(天竜川～JR橋)の管理及び工事 |
| | 上席専門職 | 駒ヶ根出張所 | 天竜川(高森町万年橋～伊那市殿島橋) 小渋川(天竜川～生田第2床固) 太田切川(天竜川～太田切橋)の管理及び工事 |
| | | 飯田河川出張所 | 天竜川(長野県境～高森町万年橋)の管理及び工事 |
| | | 小渋川砂防出張所 | 小渋川流域の砂防工事 |
| | | 三峰川砂防出張所 | 三峰川流域の砂防工事 |
| | 飯島砂防出張所 | 太田切川、中田切川、与田切川、片桐松川、新宮川流域の砂防工事 | |
| | 遠山川砂防出張所 | 遠山川流域の砂防工事及び地すべり対策工事 | |

令和4年度 事業費

事業費

■ 河川事業費

(単位:千円)

1,319,328

(令和3年度補正 1,848,000)

■ 砂防事業費

4,949,000

(令和3年度補正 2,595,025)

合 計

6,268,328

(令和3年度補正 4,443,025)

流域治水対策の推進

流域治水の理念

気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に治水に取り組む社会を構築する必要があります。「流域治水」とは、堤防整備、ダム建設・再生、砂防堰堤の整備等の対策をより一層加速させるとともに、さらに集水域（雨水が河川に流入するエリア）から氾濫域（河川等の氾濫により浸水が想定されるエリア）にわたる流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う考え方です。



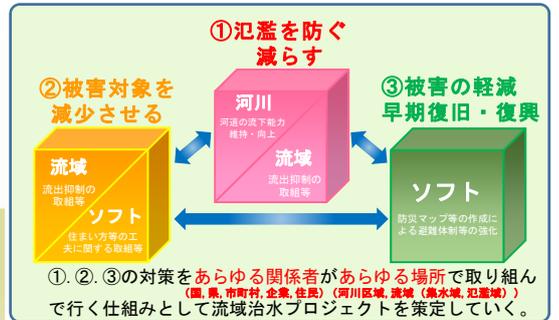
流域治水対策のイメージ図

天竜川上流河川事務所ホームページ

天竜川上流河川事務所ホームページのスクリーンショット。上部には「天竜川上流流域治水プロジェクト」のリンクバナーがあり、中部には「中部圏長期ビジョン」のリンクバナーが強調されています。

中部圏長期ビジョン リンクバナー

中部圏長期ビジョン

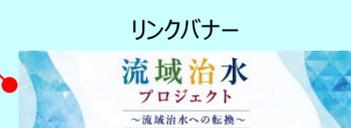


天竜川上流流域治水プロジェクト
(令和3年3月公表)

天竜川上流流域治水プロジェクトリンクバナー



流域治水プロジェクト中部地整特設ページ



流域治水協議会

～「流域治水」への転換～



天竜川上流の河川事業

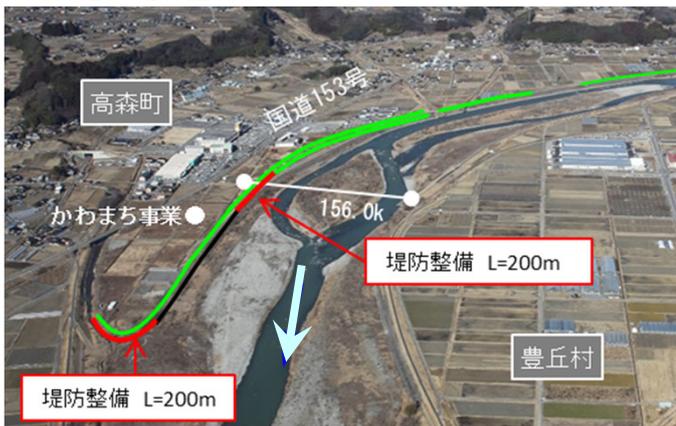
R4年度(R3補正)の主な河川事業箇所位置図



| | 事業名/工事名 | 施工場所 | 工事内容 |
|--------|------------------|--------------------|--------------------|
| 河川改修 | ① 山吹地区堤防整備事業 | 下伊那郡高森町山吹地先 | 堤防整備 |
| | ② 南向地区堤防整備事業 | 上伊那郡中川村葛北地先 | 堤防整備 |
| | ③ 伊那地区河道掘削事業 | 伊那市狐島・野底・福与地先 | 河道掘削 |
| | ④ 太田切川急流対策事業 | 上伊那郡宮田村大久保地先 | 護岸整備 |
| 河川維持修繕 | ⑤ 伊那堤防維持管理修繕工事 | 伊那出張所管内 | 維持作業+除草工事 |
| | ⑥ 伊那維持修繕工事 | 伊那出張所管内 | 維持作業 |
| | ⑦ 樋口地区護岸修繕工事 | 上伊那郡辰野町樋口地先 | 護岸修繕工事 |
| | ⑧ 駒ヶ根堤防維持管理修繕工事 | 駒ヶ根出張所管内 | 維持作業+除草工事 |
| | ⑨ 駒ヶ根維持修繕工事 | 駒ヶ根出張所管内 | 維持作業+生田第2床固、常水路工修繕 |
| | ⑩ 小渋川葛島地区護岸修繕工事 | 上伊那郡中川村葛島地先 | 護岸修繕+生田第1床固、常水路工修繕 |
| | ⑪ 駒ヶ根管内護岸修繕工事 | 駒ヶ根市東伊那地先、宮田村大田切地先 | 護岸修繕工事 |
| | ⑫ 飯田地区堤防維持管理修繕工事 | 飯田河川出張所管内 | 維持作業+除草工事 |
| | ⑬ 飯田地区維持修繕工事 | 飯田河川出張所管内 | 維持作業 |
| | ⑭ 下市田護岸修繕工事 | 下伊那郡高森町下市田地先 | 護岸修繕 |



山吹地区堤防整備事業



太田切川急流対策



天竜川上流の河川事業

R4年度の主要河川事業

※写真は令和4年2月末時点

■山吹地区河川整備事業(継続)

R2年3月に高森町のかわまちづくり事業が策定され、長野県で行われる2028年国民スポーツ大会に向けた施設整備(高森町事業)も開始される山吹地区は、商業エリアとしての発展も進んでいます。

竜神大橋の建設(県事業)も始まり、国道153号へ接続することで地域全体の利便性の向上など地域計画が進むなか、それぞれの事業と連携し、防災拠点としての整備を進め、地域全体の防災機能を高めます。



■太田切川急流対策事業(新規)

気候変動に伴い激甚化・頻発化する自然災害を踏まえ、流域治水対策を推進するため重点的・集中的に侵食対策等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図り、整備計画流量を安全に流下させ浸水被害を防止します。



■南向地区堤防整備事業(継続)

堤防高・堤防断面が不足する南向地区は、流下能力が著しく不足しており、洪水時は堤防背後地に点在する家屋や国道153号へ接続する限られた生活道路(緊急輸送道路)、工場等に被害がおよぶ恐れが高いため、河道掘削等を行う治水事業により流下能力を向上させ、地域全体の生活基盤安定を図ります。



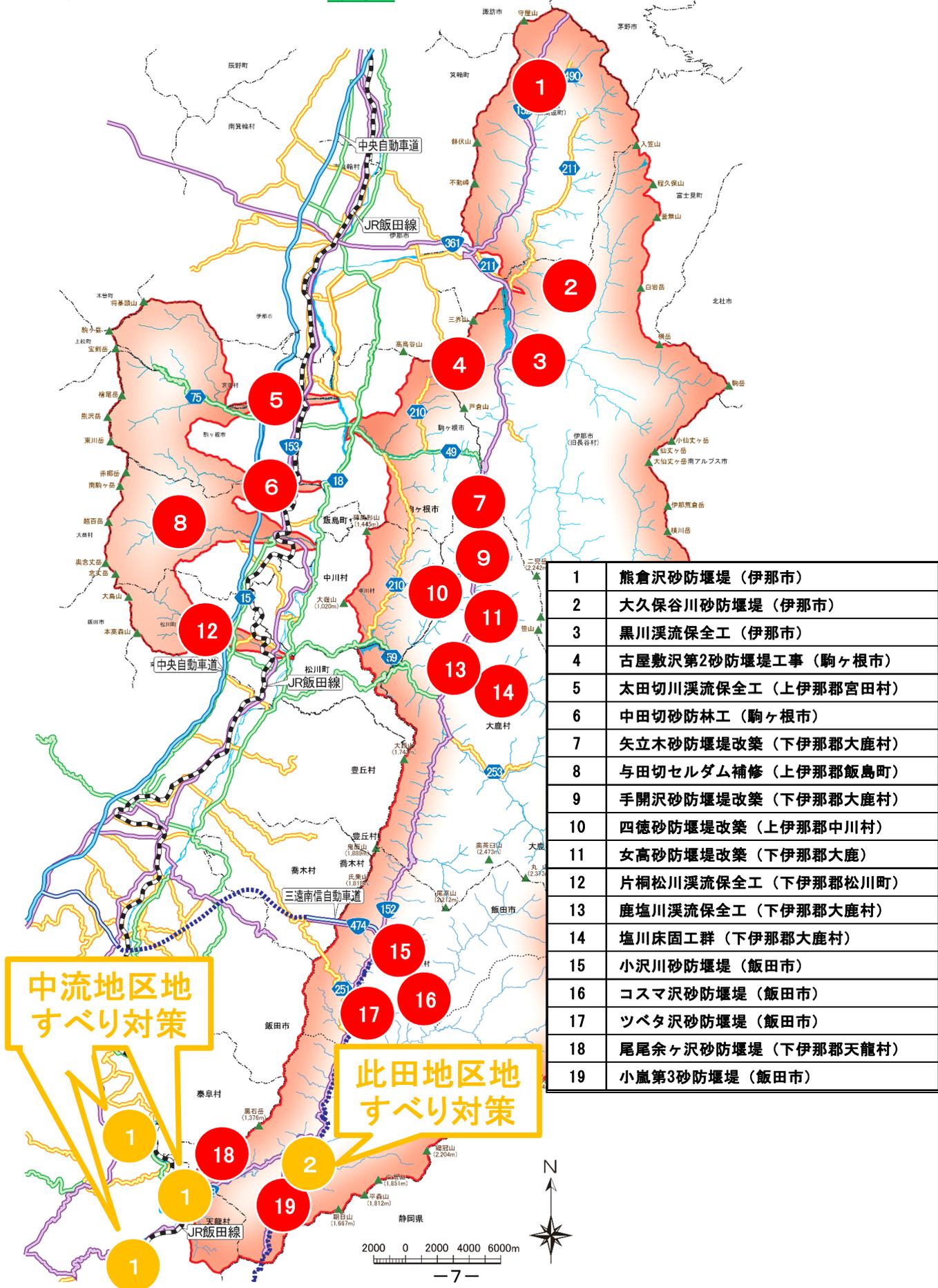
■伊那地区河道掘削事業(継続)

堤防高・堤防断面が不足する区間の多い伊那地区は、流下能力の不足箇所が連続しています。天竜川沿いの家屋等に被害が発生する恐れがあるため、河道掘削等を行う治水事業により流下能力の向上を図ります。



天竜川上流の砂防事業

R4年度(R3補正)の主な砂防事業箇所位置図



天竜川上流の砂防事業

R4年度の主な砂防事業(砂防堰堤)

おおくぼだにがわ

大久保谷川砂防堰堤(伊那市)

くまらさわ

熊倉沢砂防堰堤(伊那市)

なかとぎりだいさん

中田切第3砂防堰堤改築(駒ヶ根市)

ふるやしきざわ

古屋敷沢第2砂防堰堤(駒ヶ根市)

しとく

四徳砂防堰堤改築(中川村)

きたがわ

北川砂防堰堤改築(大鹿村)

つべたさわ

ツベタ沢砂防堰堤(飯田市)

こおろし

小嵐第3砂防堰堤(飯田市)

こすまさわ

コスマ沢砂防堰堤(飯田市)

こざわがわ

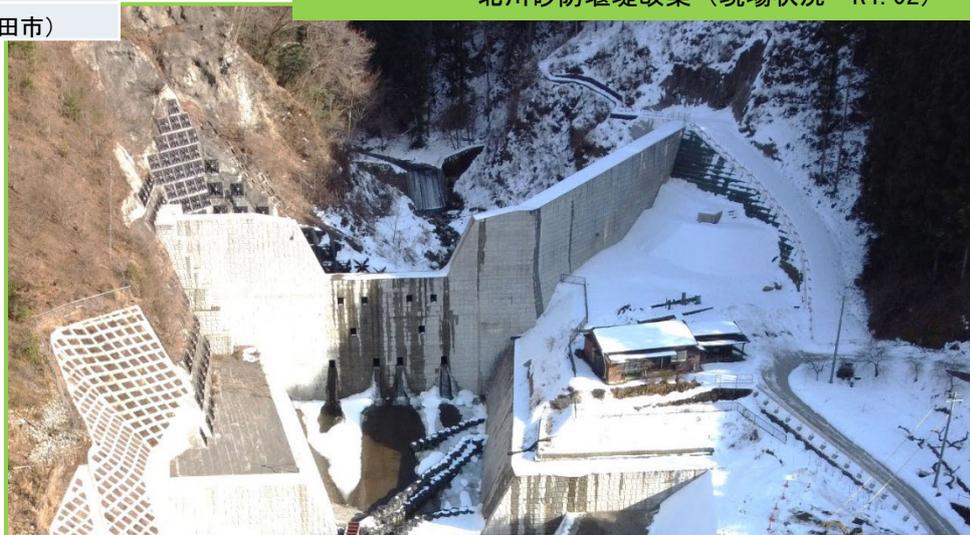
小沢川砂防堰堤(飯田市)

おおよけさわ

尾尾余ヶ沢砂防堰堤(飯田市)



北川砂防堰堤改築(現場状況 R4.02)



ツベタ沢砂防堰堤(現場状況 R4.02)



コスマ沢砂防堰堤(現場状況 R4.02)

近年の出水に対する河川事業の対応

三峰川堤防被災(令和2年6月30日～7月1日発生)

令和元年台風第19号により被災した箇所が、令和2年6月30日～7月1日の豪雨により増破。上流の美和ダムが放流調整を行い、24時間体制で応急復旧工事を実施。引き続き、緊急復旧工事にて5tテトラポッドを投入し、堤防欠損の拡大を防止。大型連節ブロックによる法覆護岸工にて同月の15日までに緊急復旧工事を行い、その後の災害復旧工事により現況復旧しました。



- ・三峰川流域の北沢雨量観測所、荒川雨量観測所では、直近10年(2010-2019年)の7月期平均雨量に比べて、6/30-7/12の約半月のみで約2～4倍に達する記録的な大雨を観測
- ・被災した箇所が洪水の水衝部となり、河岸・堤防の欠損が生じたと推察しています



〔応急復旧堤防完成までの経過〕

7月1日(被災当日)

- 8:00 堤防欠損(住民発見→伊那市→出張所)
- 11:15 コンクリートブロック投入開始
- 24:15 コンクリートブロック242個投入完了

7月6日 堤防盛土完了

7月7日 元の堤防高までの応急復旧が完成(被災後1週間)

7月14日 応急復旧堤防完成(被災後約2週間)



〔堤防の本復旧工事〕

- ・非出水期を迎えた令和2年10月から着手、完成は被災から1年後の令和3年6月30日でした

〔堤防復旧のイメージ〕

- ・今後の洗掘で、河床がさらに下がる恐れがあることから、護岸は、これまでの基礎より深くし、洗掘が進んでも堤防が洗掘されない構造とする



〔令和3年7月16日〕

- ・災害復旧工事の完成に伴い、『三峰川堤防完成現地説明会』を開催
- ・説明会は伊那市長が出席され、災害の状況や復旧までの過程など説明させていただきました。

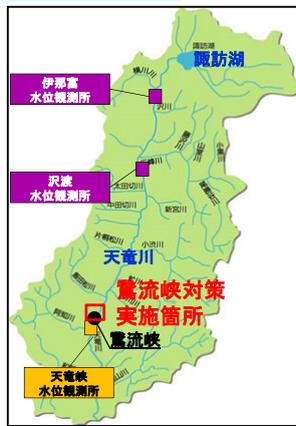
鷺流峡対策の効果 (速報版)

(工事実施:H27~R2)

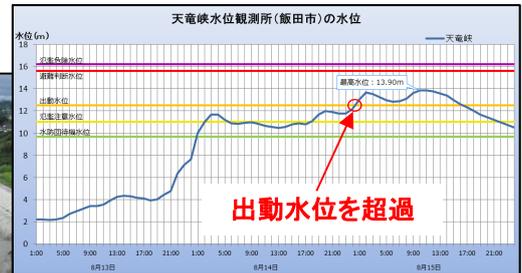
- 令和3年8月の出水において、鷺流峡対策(令和2年度末概成)を実施していなかった場合の水位と実施後の水位を比較した結果、**水位が約100cm低下**しました。これにより、決壊氾濫リスクが低減したと推定されます。

※この資料は速報としてとりまとめたもので、後日数値等の一部訂正や追加をすることがあります。

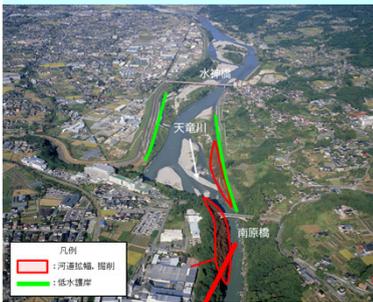
●位置図



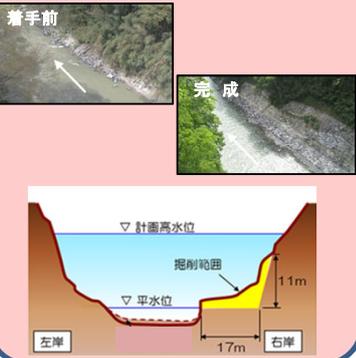
●出水状況



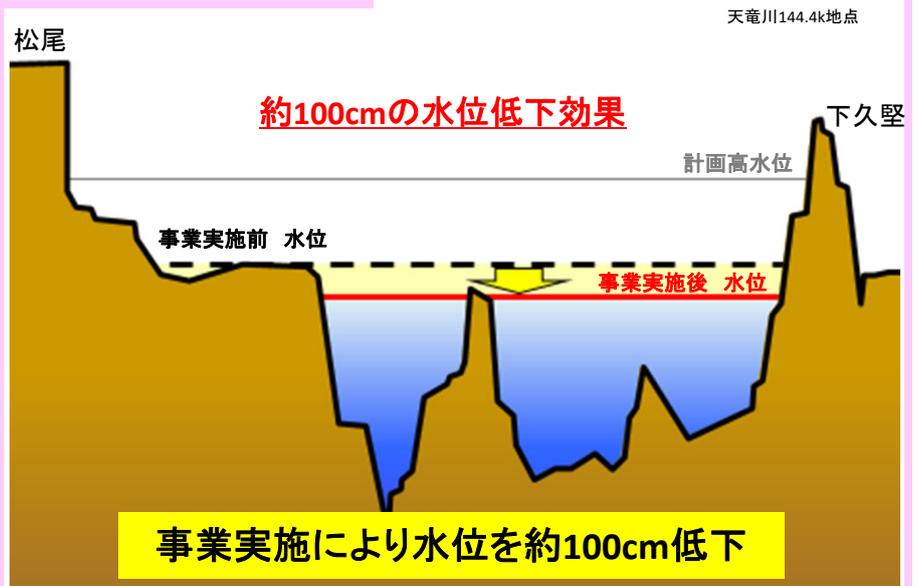
●松尾・下久堅地区治水事業 (鷺流峡対策)



■鷺流峡の掘削



●鷺流峡対策による効果



※水位低減効果は、事業実施前のH16年の河道と事業実施後のR2年の河道を比較して算出

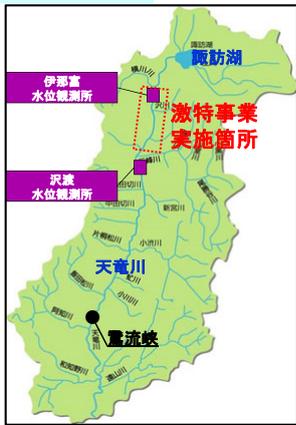
激特事業の効果(速報版)

(工事実施:H18~H22)

- 令和3年8月の出水において、激特事業(伊那伊北地区)を実施していなかった場合の水位と実施後の水位を比較した結果、**水位が約70cm低下**しました。これにより水位を計画高水位以下に抑えることができた と推定されます。

※この資料は速報としてとりまとめたもので、後日数値等の一部訂正や追加をすることがあります。

●位置図

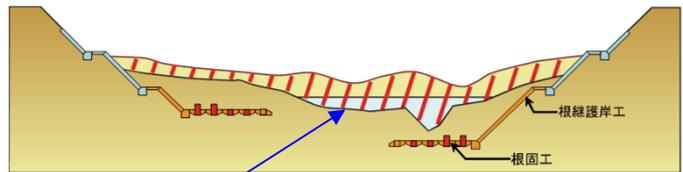


●事業概要(激特事業)

事業箇所: 伊那伊北地区(伊那市、南箕輪村、箕輪町、辰野町)



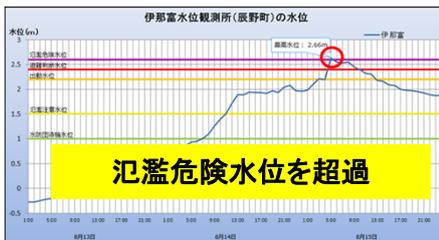
激特事業工事箇所(抜粋)



事業のイメージ

※フラットな河床掘削は行わない

●出水状況



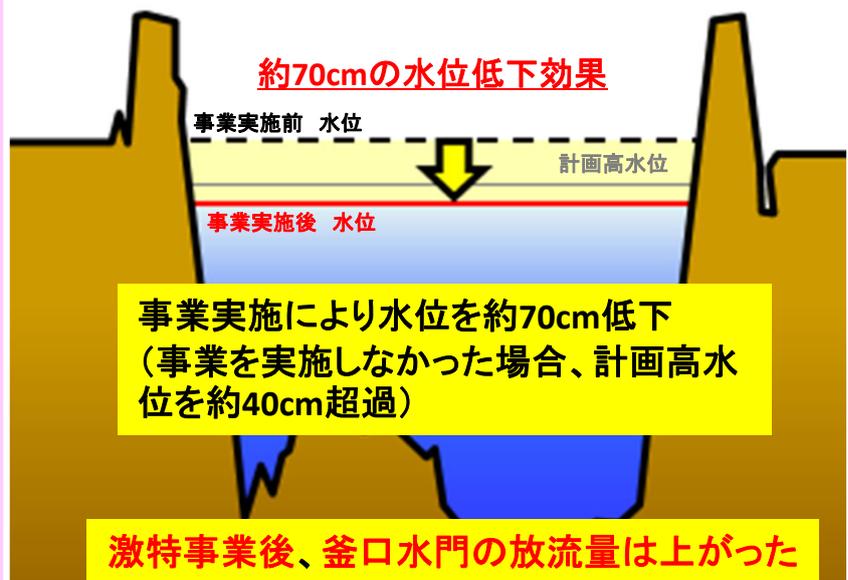
氾濫危険水位を超過

伊那富水位観測所の水位

戦後4番目に高い水位
(2.66m)を記録しました

●激特事業による効果

天竜川210.0k地点



※水位低減効果は、事業実施前のH16年の河道と事業実施後のR2年の河道を比較して算出

近年の出水に対する砂防事業の対応

- ・令和3年8月12日、太田切川流域で3日連続雨量546mmの大雨が発生
- ・これにより、新大田切橋付近で約6mの河床低下が発生、砂防施設(県施工)が被災
- ・多量の土砂流出・河床低下による上流の砂防施設への損傷を防ぐため、長野県・駒ヶ根市と協議を行い、被災した砂防施設への緊急対応と応急復旧を実施

位置図



砂防施設の復旧状況



被災直後 (R3.8.18時点)



緊急対応 (R3.8.19時点)

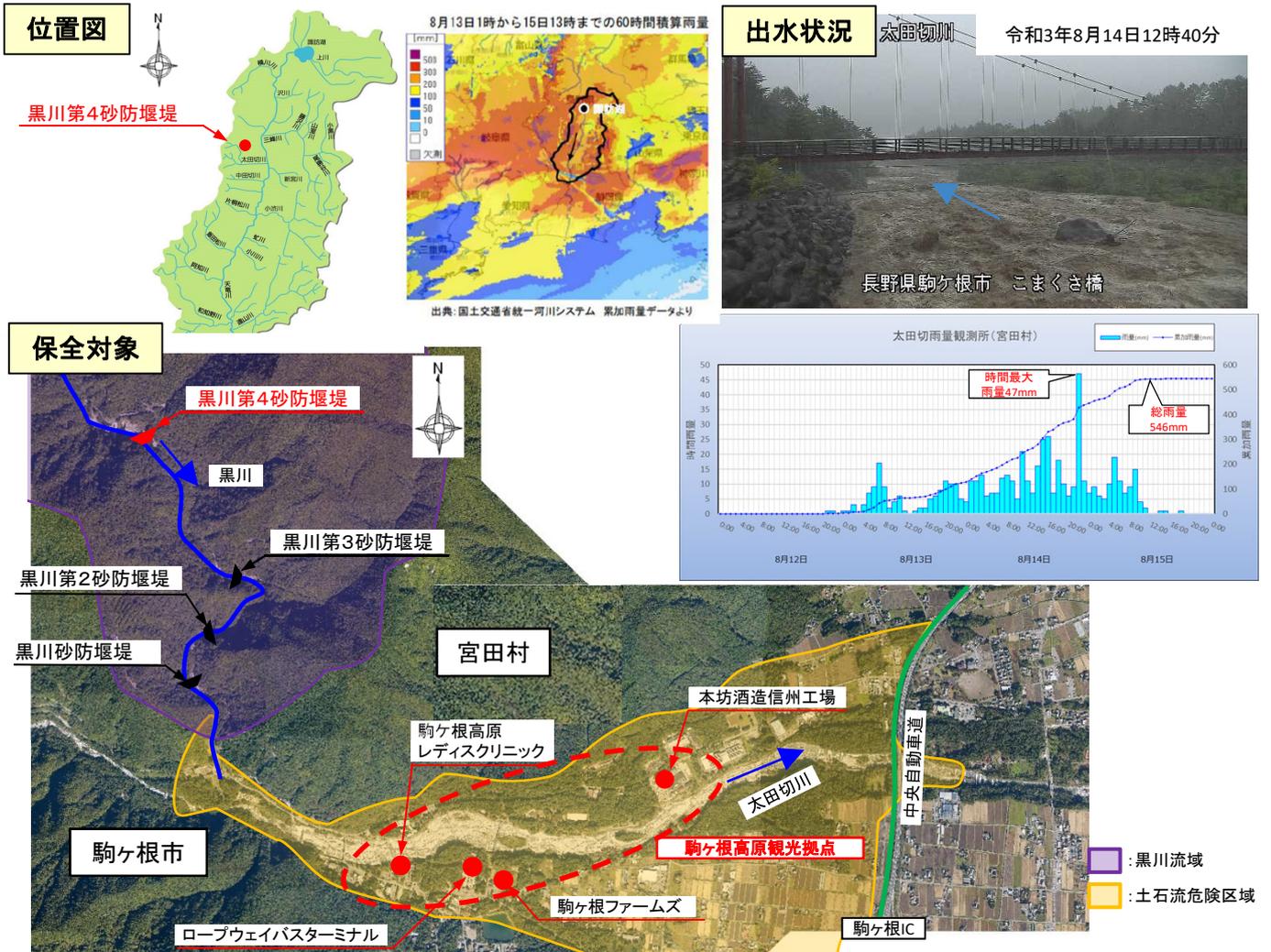


応急復旧完了 (R3.9.30時点)

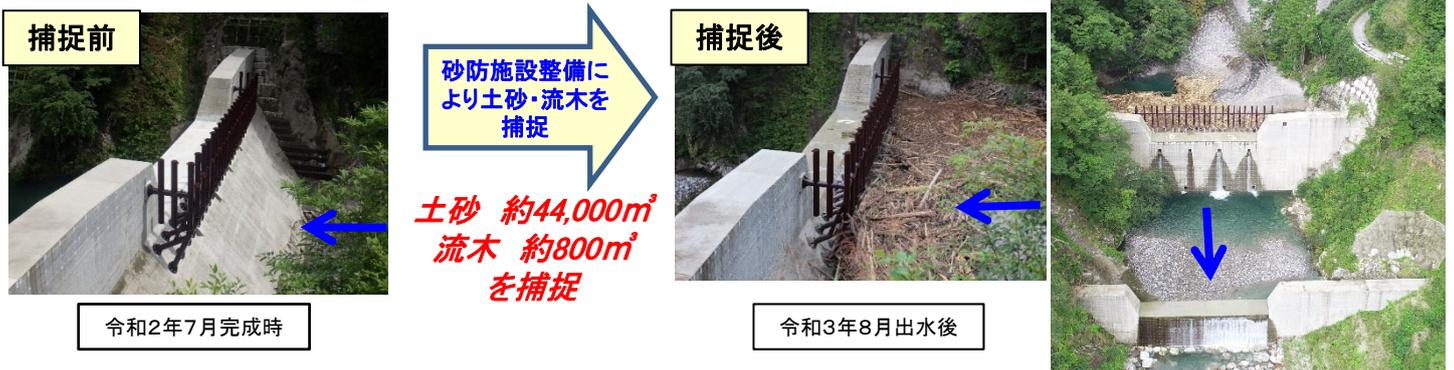
3ヶ年緊急対策事業の効果 (速報版)

黒川第4砂防堰堤が土石流・流木を捕捉

- ・令和3年8月12日から8月15日にかけて、梅雨前線による時間最大雨量47mm/h、総雨量546mmの大雨が発生(太田切雨量観測所)。この雨により大量の土砂・流木が流出。
- ・国土強靱化3か年緊急対策事業で整備した黒川第4砂防堰堤が効果を発揮し、**土砂・流木を捕捉、下流人家等への被害なし。**



【黒川第4砂防堰堤(3か年緊急対策事業箇所)】



天竜川上流の河川管理

○水質事故防止対応

河川への油類や有害物質などの流出事故が発生した場合は、長野県、市町村などの関係機関と連携し、オイルフェンス設置などの拡散防止対策を行います。このような流出事故は、水質の悪化はもとより下流の取水施設等に大きな被害を与えるばかりか、場合によっては損害賠償問題へ発展することもあります。

水質事故による被害軽減のため、対策資材の備蓄をはじめ、関係機関と合同で定期的に水質事故対策訓練を実施するとともに、水質事故防止に向けた啓発活動を積極的に行っています。



水質事故発生時の対応状況



水質事故現地対策訓練の様子

○公募型河道内樹木伐採

天竜川上流河川事務所では、コスト縮減を図りながら河道内樹木を減らすため、平成27年度から公募型河道内樹木伐採を実施しています。当初は認知度が低かった本事業ですが、広報や申請手続きの改善などの取り組みを行い、年々協力者が増加しています。令和3年度には、管内10箇所を16団体に協力していただきました。

当地域は薪ストーブユーザーが多く、伐採に参加した協力者のほとんどは、伐採した樹木を自家用の薪ストーブの燃料に使用することです。地域の需要に応えつつ、伐採コストを縮減する取り組みとなっています。



樹木伐採の様子



樹木伐採後の状況

天竜川上流の環境と利用

○地域と協調した河川環境保全

昭和30年代まではよく見られた『レキ河原』を再生する事業(①樹木の伐採、②砂州の切り下げ、③外来種の駆除)は、令和3年度で事業は一旦区切りを付け、現在、モニタリング調査を行っています。近年の調査結果ではレキ河原を再生した箇所ですでにチドリ類の繁殖が確認されるなど事業の効果が得られています。

また、地元固有種である「ツツザキヤマジノギク」が自生する下伊那郡松川町では、レキ河原の再生をきっかけにツツザキヤマジノギクの観察会・個体数調査・外来種駆除などの活動が盛んになり、現在では地元自治体主体の保全協議会が設立され、その活動が継続しています。

また、日本で最大規模と言われる「ミヤマシジミ」の生息地があり、専門家に助言をいただき幼虫の食草保全等を行いながら河川管理を行っています。



抱卵中の様子



○市民団体等によるボランティア活動

かつての天竜川、三峰川の前風景を取り戻し、治水上安全で親しみのある川づくりに向けて、市民団体(三峰川みらい会議、特定非営利団体 天竜川ゆめ会議等)や地域主体のボランティア活動が継続されています。

河川美化活動をはじめから25年が経過しました。地域の皆さまのおかげでアレチウリなど特定外来植物の拡大が抑えられています。

今後も、よりよい河川環境にするための活動を地域の皆さまと定期的に保全活動を行っていきます。

災害時の防災拠点として平成14年に開館した飯田市川路地区の「天竜川総合学習館」(愛称“かわらんべ”)において、河川の安全な利用促進や、防災・自然体験講座の支援を行っています。「かわらんべ」とは、「天竜川総合学習館」の愛称で、伊那谷の方言では、「カッパ」のことを意味します。「カッパのように川に親しみ川を知り、洪水や水難から身を守る知識や、自然環境に目を向けてもらいたい」との願いを込めて運営しています。また、「かわらんべ」周辺地区では河川美化活動などのボランティア活動も積極的に行われており、地域の皆様と一緒に実施しています。これらの活動に対し、「かわらんべ」は、令和3年度「手づくり郷土賞(一般部門)」で国土交通大臣表彰を受賞しました。



固有種の保全に向けたアレチウリ駆除



河川愛護月間での河川清掃



かわらんべ屋内の様子

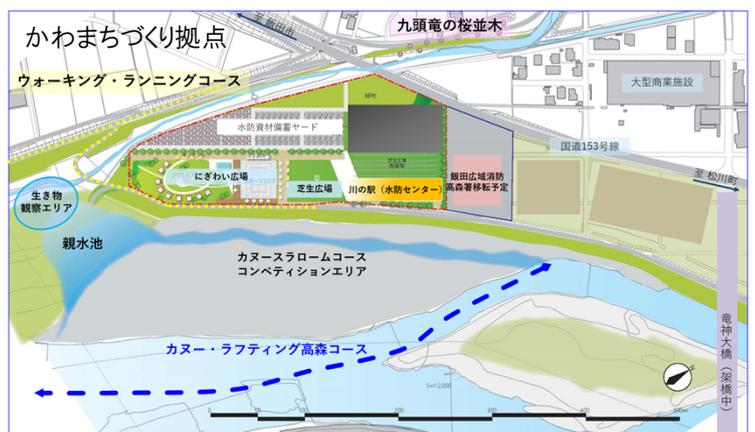


自然体験講座の様子

○天竜川高森かわまちづくり

天竜川高森かわまちづくりでは、長野県で2028年に開催が予定されている国民スポーツ大会のカヌー競技開催に向けたハード整備や、“カヌーの町”としての特色を盛り上げていくソフト事業を展開し、賑わいの創出、地域の魅力向上を図ります。当該地域は、将来的に開通が予定されるリニア中央新幹線の長野県駅から15分の立地、併せて中央自動車道座光寺スマートICの整備や天竜川の東西を結ぶ竜神大橋の新設が計画されるなど、地域一帯に新たな「関係人口」の増大が期待されています。

※関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を差す言葉です。(総務省 関係人口ポータルサイトより)

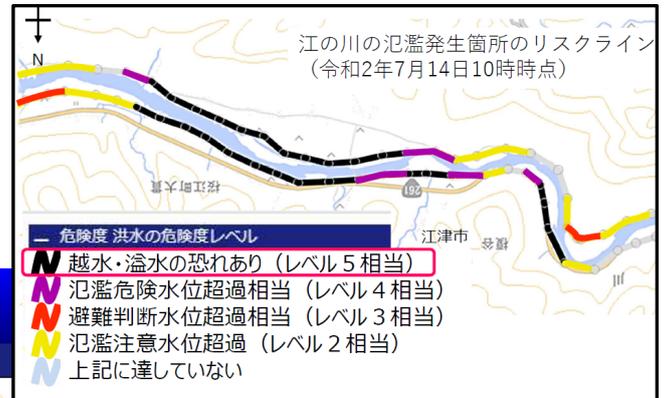


※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

危機管理（防災情報等の活用）

○水害リスクラインによる危険度表示

観測所地点の水位から上下流連続的な水位をリアルタイムで計算し、堤防の高さと比較することで危険度を色別に表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝えます。



表示例



水害リスクラインでは以下の情報を提供します

- ・洪水の危険度レベル(現状)
- ・観測所水位
- ・浸水想定区域図(L1,L2)

水害リスクラインURL: <https://frl.river.go.jp>



スマートフォン等から
アクセスする場合はこちら

危機管理（防災情報等の活用）

国土交通省などで収集した雨量・水位・ダム情報等について、「川の防災情報」を通じ、情報発信を行っています。また、「川の水位情報」でも、各水位観測所の水位に加え、危機管理型水位計の水位データと簡易型河川監視カメラを閲覧することができます。

○危機管理型水位計

洪水時の水位観測に特化した水位計で、一定の水位（河川管理者が指定した水位）を超過したときから、10分以内毎に水位観測を行う水位計です。氾濫開始水位までの水位を観測するため、状況把握や避難の判断に活用することができます。



危機管理型水位計の設置状況

○簡易型河川監視カメラ

管内における河川の状況を画像発信することでリアリティをもってお伝えすることができ、地域住民の方々の安全行動の参考として活用して頂くことを目的に簡易型河川監視カメラを設置しました。



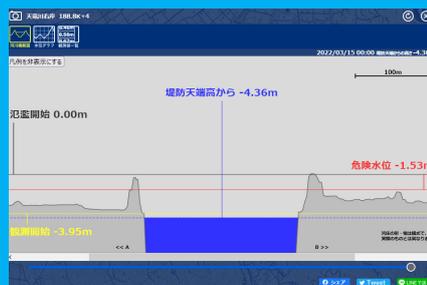
簡易型河川監視カメラの設置状況

○川の水位情報画面



①危機管理型水位計

リアルタイムの水位情報を確認できる
（氾濫開始までの水位を確認）



②簡易型河川監視カメラ

リアルタイムの河川状況を確認できる
※画像は5分毎の静止画



※川の防災情報でも危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラは確認できます。

天竜川については、平成31年4月より、PCサイト「川の水位情報」の運用を始めました。

本システムではスマートフォン・タブレット・パソコン等を用いて、**危機管理型水位計の水位データや、通常水位計の水位データ、河川監視カメラの画像**を閲覧することができます。

アクセスはこちらから→ <https://k.rever.go.jp/>（パソコン・スマートフォン共通）





天竜川流域（長野県内）において、国が行う河川事業・砂防事業を実施しています。
 ご意見・ご質問等がございましたら
 事務所または、最寄りの出張所へお問い合わせ下さい。



笑顔、きらきら、天竜川。

天竜川上流河川事務所

Tenryu River Upper Reach Office,
 Chubu Regional Development Bureau,
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, JAPAN
 Uwabu-minami 7-10, Komagane City, Nagano Prefecture JAPAN 399-4114

代表電話番号：0265-81-6411
 住所：〒399-4114 駒ヶ根市上穂南7-10
 URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/>
 Mail cbr-tenjyo@mlit.go.jp
 Twitter https://twitter.com/mlit_tenjyo/

○ 事務所各課の連絡先

| 部 | 署 | 名 | 電話番号 | FAX 番号 |
|-------|---|---|--------------|--------------|
| 総務課 | | | 0265(81)6411 | |
| 経理課 | | | 0265(81)6412 | 0265(81)6419 |
| 用地課 | | | 0265(81)6413 | |
| 品質確保課 | | | 0265(81)6416 | |
| 砂防調査課 | | | 0265(81)6417 | 0265(81)6421 |
| 工務課 | | | 0265(81)6418 | |
| 管理課 | | | 0265(81)6414 | 0265(81)6420 |
| 調査課 | | | 0265(81)6415 | |



事務所のインターネットページ <人気のコンテンツ>

- ・河川・砂防監視カメラ
- ・最大想定規模の洪水浸水区域図
- ・天竜川の主要な動植物
- ・語りつぐ天竜川シリーズ
- ・人と暮らしの伊那谷遺産

など

○ 河川出張所連絡先

| | | |
|---------|------------------------|-----------------------------------|
| 伊那出張所 | 〒396-0026 伊那市西町5171-2 | TEL 0265(72)2734 FAX 0265(72)3341 |
| 駒ヶ根出張所 | 〒399-4117 駒ヶ根市赤穂4538-5 | TEL 0265(82)5682 FAX 0265(83)0618 |
| 飯田河川出張所 | 〒395-0821 飯田市松尾新井6753 | TEL 0265(22)3654 FAX 0265(53)0359 |

○ 砂防出張所連絡先

| | | |
|----------|------------------------------|-----------------------------------|
| 小渋川砂防出張所 | 〒399-3502 長野県下伊那郡大鹿村大河原892 | TEL 0265(39)2301 FAX 0265(39)2460 |
| 三峰川砂防出張所 | 〒396-0211 長野県伊那市高遠町西高遠631 | TEL 0265(94)2059 FAX 0265(94)2376 |
| 飯島砂防出張所 | 〒399-3702 長野県上伊那郡飯島町飯島2527-3 | TEL 0265(86)2159 FAX 0265(86)4009 |
| 遠山川砂防出張所 | 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内209-5 | TEL 0260(34)2376 FAX 0260(34)2641 |